

国際キワニス財団ロバート・P・コネリーメダル

キワニス日本財団 英雄的自己犠牲賞

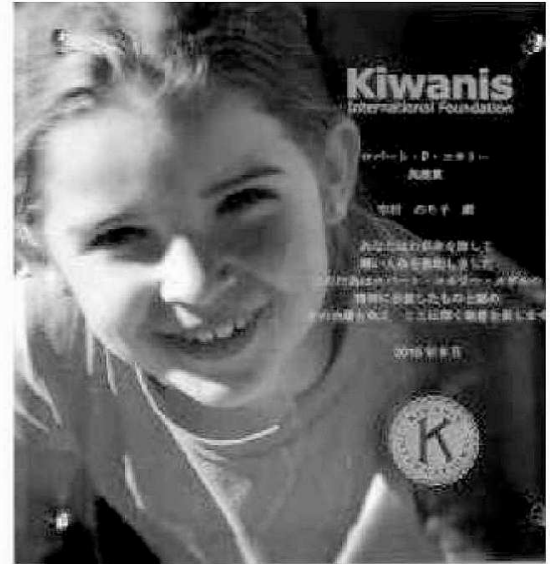
中村のり子氏（享年60歳）

埼玉県本庄市前原二丁目

概要

2012年11月24日午後3時半頃、埼玉県本庄市銀座1丁目のJR高崎線神保原—本庄間の遮断機がおりた踏切内で、男性（70）が落とした食品などを拾っていた。中村さんは遮断機をくぐり男性の両脇を抱えて踏切の外に出そうとした、そこで列車にはねられた。男性は間もなく死亡が確認され、中村さんも病院で手当てを受けたが約4時間半後に息を引き取った。

中村さんは、一緒に暮らしていた90代の母親が入院したため毎日見舞っていた。この日も自転車で病院に向かうところだった。



功績

踏切内でしゃがんでいた男性を踏切の外から駆け寄った中村さんが抱きかかえていた時に電車にはねられた。男性は市内の病院に入院中で踏切内に落とした買い物袋や杖を拾おうとしていたとみられる。自らの危険を顧みず男性を助けようとした「勇気ある行為」はまさに「英雄的自己犠牲賞」に値する。